

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クリエイティブサポート くじら(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 20日		～ R7年 12月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R7年 12月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・将来の移行を見据えた支援で同法人内に様々な事業所があるため、利用児が体験できる機会が多い。	・就労・生活介護などの将来への見通しを持てるように、長期休業中は就労体験や生活介護の体験を行っている。 ・体験したことを通して利用児の伸ばせる力や課題の把握ができ、保護者と共有することで、移行に繋げることが出来る。	・利用児が移行後に、自信を持って日常生活や事業所をご利用できるように、体験する機会を増やし、事業所での個別支援計画に反映させる。
2	・特性や個性のある利用児には、職員の体制を整えて専門的な支援にあたっている。	・基準以上に職員を配置している。 ・個々に合わせた構造化しているプログラムを提示している。	・専門職を配置し、専門的实施計画書に沿った支援の共有と定期的な評価を行っている。
3	保護者から相談があった際には迅速な対応をしている。(家族支援)	・こどもの様子や保護者からの相談を定期的に共有する機会を作っている。 ・相談があった場合には迅速に対応できるように職員の体制を整えている。	・専門的な視点からの相談の実施する。 ・意向に沿った支援をチームで検討していく。 ・きょうだい児の相談も定期的に行っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレント・トレーニングやご家族に対する研修の機会が少ない。	・ご家族への研修の機会は保護者会で実施している。保護者会だけの研修実施になっているため、全保護者へご案内が行き届いてなかった。	・早めに保護者へ案内をする。 ・保護者が受けたい研修を事前にアンケートを行い、結果を元に研修を行うようにしていく。
2	非常災害時に備え定期的な避難、救出などの必要な訓練を実施した後のご家族へ報告が行き届いていない。	避難訓練は年に2回以上実施しているが保護者へ伝達不足がある。保護者会や広報誌で報告したが周知不足であったことが要因と思われる。	非常災害に向けて年間計画に盛り込み、実施前に月間予定や非常災害訓練計画書を説明し、保護者へ周知する。また、保護者会で災害時のマニュアルや実施報告を行う為、ご参加していただけるように、早めの呼びかけを行う。
3	同年代との地域交流の機会が少ない	・地域のイベントや公園に行く機会はあるが、児童クラブなど同年代の子どもとの交流を図る場面が少なかった。	・長期休業期間等に同年代の方向けのイベント、地域のバザー等、地域のイベントへの参加を計画していく。また、児童クラブとの交流会も検討していく。